



これからの 中学受験・高校受験・大学受験は 学校外の英語教育が 必須の時代になります

中学からオールイングリッシュ授業開始 英語授業・小学5から正式科目化

文科省は2020年から**中学校の英語授業を全て英語で行い**、**2018年から小5でも英語を正式科目にすることを決定しました**。現状では高校授業が英語で行うよう制度化されているので、それを小学生まで早めた形になります。同時に、中学の教員に英検準一級以上を求めるよう発表をしました。



2013/12 読売新聞

順位	国名	Speaking	Writing	Totalスコア
1	Singapore	24	25	99
2	India	23	23	91
3	Pakistan	24	23	90
4	Malaysia	22	23	89
4	Philippines	24	23	89
6	Republic of Korea	21	22	85
6	Sri Lanka	22	21	85
8	Bangladesh	21	22	84
9	Hong Kong	21	22	83
9	Indonesia	20	21	82
9	Nepal	21	21	83
9	Republic of	21	21	82
13	Kazakhstan	22	20	80
14	Bhutan	22	21	79
14	Myanmar	20	21	79
14	Taiwan	20	20	79
14	Uzbekistan	21	20	79
18	Vietnam	19	21	78
18	Azerbaijan	20	20	78
20	China	19	20	77
21	Kyrgyzstan	20	20	76
21	Macao	19	20	76
21	Thailand	19	20	76
24	Turkmenistan	20	19	74
25	Afghanistan	21	19	71
26	Japan	17	18	70
26	Mongolia	19	18	70
28	Cambodia	19	19	69
29	Lao, People's Democratic Republic	20	18	68
29	Tajikistan	20	17	68
31	Timor-Leste	19	18	62

日本の英語レベルはモンゴル並

左の図はTOEFLを主催しているETSがTOEFLの国別平均点を元に2013年に発表したランキング表になります。

実は**日本の英語レベルはアジア圏31か国中26位でモンゴルと同じレベルです。(韓国 6位/中国 20位)**

今の英語教育では限界があり、脱却を図ることが必要であるといえます。**政府はこういったの「英語が話せない日本人」を改善すべく、2013年に高校の授業をオールイングリッシュ化しました**。しかし、その結果はふるわず**高校生の7・8割が中学レベル**であることが2015年の朝日新聞で報道されています→。



2015/12 朝日新聞

高校生の7・8割が 中学レベル！？

2015年の一斉模試では、**高3生の実に7~8割が英検3級程度の英語力しかありませんでした**。しかしながら、文科省の制度改革を受け、**中学・高校・大学の入試では4技能を求める英語入試がどんどん導入され、中学入試では英検3級、大学入試では2級~準1級レベルが求められています**。学校の授業だけで対応するのは、ほぼ不可能なレベルです。



2015/1 朝日新聞



2015/12 日経新聞

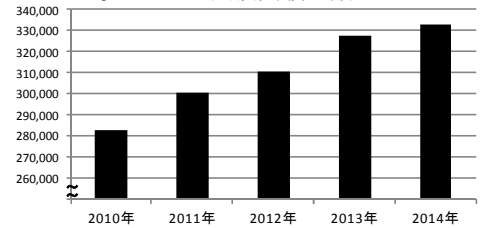


これからは英語力が
二極化していきます
**英語改革に対応するために
英検の取得を推奨しています**

毎年2万人以上の小学生が 英検3級以上を取得しています

制度についていけない学校を傍目に、学外の英語教育は加熱しています。英会話・プリスクールの数は年々増加し、小学生以下の英検受験者数は急増。幼児（5歳以下の未就学児）の英検受験者数はここ10年で5倍、小学生は10倍になっています。2013年の小学生の英検合格者数は約16万人 そのうち10人に1~2人が3級以上取得者です。学外の英語教育を利用することで、英語入試の難化・早期化に対応する層が現れています。

小学生以下の英検受験者数



小学生の英検合格者数(2013年度)

級	合格者数	合格率
5級	94,428	85%
4級	40,804	62%
3級	13,769	53%
準2級	4,555	46%
2級	2,418	41%
準1級	351	16%
1級	28	11%

※日本英語検定協会資料から作成

学外での 英語教育が必須の時代に

2020年大学入試にスピーキングが導入されることが決定しています。今後は4技能（読む・書く・聞く・話す）がバランスよく測定されますが、現状の小・中・高は3技能対応型（読む・書く・聞く）であり、スピーキングの問題に対応するのは非常に難しいのが現状です。今後は、学校が対応できるまで、英会話スクールなどの学外の英語教育機関が、受験も踏まえた4技能対応型の英語を教えていく時代になると考えられています。



2015/10 東洋経済

2015/9 日経新聞

英語改革に対応するため、 早期の英検取得を推奨しています

Ivy House/Atomicでは、3年前から英検講座を開くなど英検取得に力をいれており、小学3年生で英検5級、小学4年生で4級、小学6年生で3級に合格するなど、年々多くの生徒さんが実績を積み上げています。

Ivy Houseでは、読み・書き・話す・聞くの4技能をオールイングリッシュで育み、プレゼンテーションやディベートできるまでに英語力を育てているのに加え、受験にも対応できるよう英語資格取得にも力を入れています。

今後、AtomicやAtomic Kidsでも、低学年ではJAPEC（児童英検）、高学年になると、英検取得に対応したレッスンに内容を充実させていきます。